

県政だより

あきた 新時代

10 2004
月号

平成16年10月1日発行 第109号

[全戸配布広報紙]

編集・発行 / 秋田県情報公開課
〒010-8570
秋田市山王四丁目1番1号
☎018(860)1073
FAX 018(860)1072
sinjidai@mail2.pref.akita.jp

正式決定!! 秋田わか杉国体 地域のパワーが元気な秋田をつくります!



「風を切って走る」

週末の六郷町自転車競技場では、県内の高校生たちが合同で練習を行っています。

鍛え抜かれた脚力でペダルを踏み込むと、時速60キロメートルに達し、まさに風を切る走り。

スピードが上がるほどに大きくなるタイヤの音とコーチの声、競技場いっぱいに響いていました。



秋田わか杉国体

君のハートよ位置につけ 2007 第62回国民体育大会

2007

The 62nd National Sports Festival

AKITA WAKASUGI KOKUTAI

冬季
大会

平成19年

2月10日(土)▶13日(火)

本大会

平成19年

9月29日(土)▶10月9日(火)

7月6日(火)財団法人日本体育協会の理事会で第62回国民体育大会(秋田わか杉国体)の開催が正式に決定されました。本県での国体開催は、スキーなどの冬季競技を除けば、昭和36年の第16回大会(まごころ国体)以来、実に46年振りです。

秋田わか杉国体は、「まごころ国体」の精神を受け継ぎながら、幅広い県民参加のもとに、地域の特色を生かし創意あふれる大会を目指しています。

今回は「秋田わか杉国体開催決定イベント」の様子と国体本番に向けた競技力向上の取り組みなどを紹介します。



秋田わか杉国体の主役たち

5月22日(土)県立武道館で国体強化選手の指定証交付式が行われ、陸上や水泳など39競技、1,196人の選手が強化指定を受けました。その中には、中学生593人、小学生22人も含まれています。

国体は、少年(18歳以下)と成年に分かれて競います。秋田わか杉国体で少年の部の主力となる選手は、平成19年に18歳になる今の中学3年生です。本県にとって、中学生の競技力向上はとても重要な課題になっています。

国体競技の半数にあたる20競技は、県内の中学校の部活動では行われていません。私たちがよく知っているレス

リングやボクシングなども、高校の部活動で初めて経験できる競技です。

アテネオリンピックのレスリング代表の横山選手やボクシング代表の五十嵐選手も高校生になってから始めたそうです。秋田わか杉国体での活躍が期待される中学生たち。彼らの前にはオリンピックの主役になる道も開かれています。



強化選手指定証交付式

国体決定 記念イベント 開催!!

平成19年の「秋田わか杉国体」と「秋田わか杉大会」の開催決定を記念するイベントが、8月12日(木)に県民会館で開催され、県民総参加の大会に向けて、大いに盛り上がりました。



コンサートフィナーレ

秋田わか杉大会...「秋田わか杉国体」本大会の直後に開催される「第7回全国障害者スポーツ大会」の愛称

記念式典を開催

西村副知事は式典の中で、「質素な中にも県民の誇りとなるような大会、県民との協働による地域づくりの基盤となるような大会を目指したい」と述べるとともに、県民総参加の一人一役運動を呼びかけました。

また、スギッチの名付け親の町本光子さん(秋田市)が表彰されました。



名付け親 町本さん(左)とスギッチ

イメージソング「make IT real」を初披露

この日、大会イメージソング「make IT real」が県民に初めて披露されました。作詞とボーカルを担当した松本英子さん(秋田市出身)作曲を担当した加曾利康之さん(秋田市出身)ボーカルを担当した中鉢聡さん(湯沢市出身)がステージにそろう、県内の小中学生による「国体ジュニアクワイア(合唱団)と一緒に大合唱。3人のアーティストは、感動の余韻が残るステージから客席に向けて、ぜひ「make IT real」のメロディーと歌詞を覚えて、みんなで歌ってほしいと呼びかけました。

秋田駅前で大大会をPR

当日、秋田駅前では、秋田わか杉国体をPRするパネル展示や広報ボランティアの募集などが行われました。愛きょうたっぴりのスギッチの登場に子どもたちは大喜び。一緒にカメラに収まっていた。



地道な努力が好結果を生む

男女総合の得点を競うのが天皇杯。本県の昨年の総合順位は24位で全国中位です。

陸上や水泳は種目も多く、得点を重ねられる競技ですが、本県のレベルは全国でも下位にあります。しかし、今年の全国高校総体の水泳競技には20人以上の選手が出場するなど、競技力は徐々に向上しています。陸上競技でも中学の全国大会で優勝争いできる選手が現われ、これまで苦手といわれた競技でも、確実に新しい芽が育ち始めています。

また、バスケットやレスリング、ボクシング、スキーなど毎年高得点を挙げている競技も多くありますが、県体育協会では「1点、2点をいかに多く積み重ねるかが大切」と地道な努力の重要性を強調しています。



選手強化とサポート体制

全国高校総体での水泳競技への出場は、競技団体やスイミングクラブの協力を得ながら、集中的に選手の強化に取り組んできた成果のひとつです。



レスリングの横山選手

強化指定選手は、体力診断や治療、トレーニング指導、栄養指導、強化練習や遠征など、競技力向上のためのきめ細やかな医科学的サポートを受けています。また、オリンピッ



競技施設は秋田らしさをPR

既存施設を活用し、簡素で効率的な大会運営を目指す秋田わか杉国体。県営陸上競技場(雄和町)は、国体の施設基準に適合させる工事のほか、施設全体のバリアフリー化が図られています。また、秋田杉のベンチを設置するなど、秋田らしさもアピールしています。

施設は来年3月までには完成する予定で、陸上競技のほか、開会式と閉会式の会場として多くの観客を迎える準備が整いつつあります。

なお、平成18年10月には国体のリハーサル大会となる東北高等学校新人陸上競技選手権大会が行われる予定です。



改修工事が進む県営陸上競技場

秋田わか杉国体・秋田わか杉大会は、県民総参加の大会を目指しています。来年度は、「手話通訳」や一般家庭に選手や役員が宿泊する「民泊」など、多くのボランティアを募集する予定です。

県民の皆さんの積極的な参加で、一緒に国体を盛り上げて行きましょう。



- 広報ボランティアになってみんなで国体をPRしよう!
- アクターズ「make IT real」に合わせたダンスや音楽でPRしよう
- PRボランティア ... イベント会場の設営や啓発グッズの配布などPR活動に協力しよう



スギッチを商品や包装紙などに使用して国体をPRしよう! 簡単な手続きで、どなたでも使用できます。使用料は無料です。



あの感動をもう一度 秋田ワールドゲームズ2001では、ボランティアの活躍が、大会を盛り上げる原動力となりました。



ビリヤード競技の選手とWG秋田大会ボランティアの皆さん

お問い合わせ 県国体・障害者スポーツ大会局大会総務課 TEL 018(860)5254 FAX 018(860)5211
 Eメール kokutai@pref.akita.lg.jp
 ホームページ <http://www.pref.akita.jp/kokutai/>
 県体育協会競技力向上対策局 TEL 018(896)5131 FAX 018(863)0084

地域のパワーが、 元気な秋田をつくります!

ちいき発「元気宣言」キャンペーン展開中



子育てを応援したり、豊かな自然を守り・育てるなど、新しい地域づくりに向けて、自ら考え、行動するグループや団体が、県内各地で増えてきています。

地方分権が進む中、秋田が自立していくためには、県民の皆さんの創意ある取り組みが原動力です。県は、皆さんの元気な取り組みを広報紙やテレビ番組などで紹介することとしています。

秋田の
元気印

環境あきた
県民フォーラム
(秋田市)

●環境を大切に思う県民の輪を広げていきます

全国に誇れる「環境あきた」の実現に向けて、平成14年から活動を開始した「環境あきた県民フォーラム」。遊学舎(秋田市)を拠点に、環境問題に取り組むグループのネットワーク化やあきた環境優良事業所認定事業(秋田県版ミニISO)など、さまざまな活動を展開しています。

この7月に、NPO法人の認証を受けたばかりですが、今後は、地球温暖化の防止に向けた活動にも力を入れていくこととしています。

この県民フォーラム 理事長の山本久博さん、事務局長の高村文子さんからお話を伺いました。

Q フォーラムの主な活動は?

山本 環境問題に関心を持ってもらうためのイベントの開催、情報紙やホームページを通じた情報提供、会員間の交流などです。

高村 フォーラムの会員は、個人、企業、団体を含めて300を超えています。会員の拡大に向けたPR活動をもっと強化したいと思います。

Q 「ミニISO」とは何ですか?

高村 本来の「環境ISO」は、経費的にも大きな負担になることから、県内事業所はなかなかチャレンジできない。そこでフォーラム独自の基準を設けて、環境への負荷軽減に積極的な企業を格安で認証していこうという趣旨です。

山本 審査の過程で、専門の審査員から業務改善の提案がいただけるほか、認証を受けることで電気代、消耗品代の節減につながるなどのメリットもありますよ。

Q これからの抱負は?

山本 環境問題は地球規模の課題ですが、取り組みは地域、企業、家庭など、それぞれのレベルでの地道な取り組みが大切です。私たちが行政に頼るだけでなく、地域の皆さんの自主的な取り組みをサポートしながら、大きな運動に発展させていきたいですね。

高村 環境問題を皆さんが真剣に考えてくれています。意見交換会では意見の対立もありますが、いろんな考えの方から参加していただくことで運動にも広がりが出ると思います。

限られたスタッフですが、県内各地に生まれている取り組みの芽を大きく育てるような活動を展開したいというお二人。これからの「県民フォーラム」の発展と運動の盛り上がり期待したいものです。

お問い合わせ TEL 018(839)8309 FAX 018(829)5803
ホームページ <http://www.eco-akita.org>

山本理事長(左)と高村事務局長

「皆さんの元気な活動」大募集!

県は、「ちいき発 元気宣言」キャンペーンを展開し、地域の元気な活動を応援しています。現在、皆さんの日ごろの活動をテレビ番組で紹介する企画を大募集しています。

応募方法 所定の応募用紙に必要な事項を記入し、活動内容がわかるもの(写真、ビデオなど)を添付して、県情報公開課まで提出してください(応募用紙は、県庁、市町村などで配布しているほか、県ホームページからもダウンロードできます)

応募締切 10月22日(金)

秋田の元気が大集合 あきた元気フェスティバルを開催します

日程 10月9日(土)~10月11日(祝)
場所 秋田ふるさと村(横手市)
内容 シンポジウムや物産市などイベントがいっぱい

お問い合わせ

県情報公開課 TEL 018(860)1073 FAX 018(860)1072
ホームページ <http://www.pref.akita.jp/koho/genkisengen/>

秋田スギ家の公開展示

公開展示期間

平成16年11月1日

平成17年3月21日

機能重視型入賞住宅が11月から公開

県は、「魅力ある秋田スギ活用住宅の提案募集」第2弾として、機能重視型住宅の入賞作品3点を決定しました。

いずれも秋田スギをふんだんに使い、耐久性やデザイン性に優れているほか、健康やバリアフリー、省エネルギーなどに配慮した人と環境にやさしい住宅です。

入賞作品は、「呼吸する土」珪藻土を使用した壁や太陽熱・地中熱の活用、ガーデニングを生かし室内と屋外に一体感を持たせた空間など、提案者の優れた視点によるさまざまな工夫が凝らされています。

ぜひこの機会に、秋田スギ活用住宅の魅力に触れてみてください。

建設地 秋田市御所野地蔵田5丁目7-2、7-3、7-5



秋田スギたくみ賞
設計・施工：曾我住宅産業(株)
TEL: 018(833)2897



えこすまいる賞
設計：M's設計室松橋雅子
TEL: 0186(62)3883
施工：(有)小坂工務店
TEL: 0186(62)4167



秋田スギまちなみ賞
設計・施工：(株)村上商店
TEL: 018(823)2178

お問い合わせ 県秋田スギ活用促進チーム TEL 018(860)2238 FAX 018(860)2239
ホームページ <http://www.pref.akita.jp/sugiteam>

健康

新時代
vol.6

お酒を人生の良き友として

本県のお酒(日本酒)の生産量、消費量は、全国でもトップクラス。「百薬の長」ともいわれるお酒。でも、一步間違うととんでもない結末が待っています。

「一杯目は健康のために、二杯目は喜び、三杯目は心地よさ、そして四杯目は愚かさのために飲む」ということわざがあります。

お酒との付き合いは、賢く、そして「なが〜く」という気持ちが大切です。

肝臓が悲鳴をあげています

適量のアルコールは、肝臓で分解されますが、それを超えたアルコールは、中性脂肪として肝臓に蓄積され、脂肪肝や肝硬変になる恐れがあります。

このほかにも、過度の飲酒習慣は、高血圧や糖尿病、がんの要因になるなど、「百薬の長」どころか「万病のもと」にもなりかねません。

お酒と上手に付き合うための3箇条！

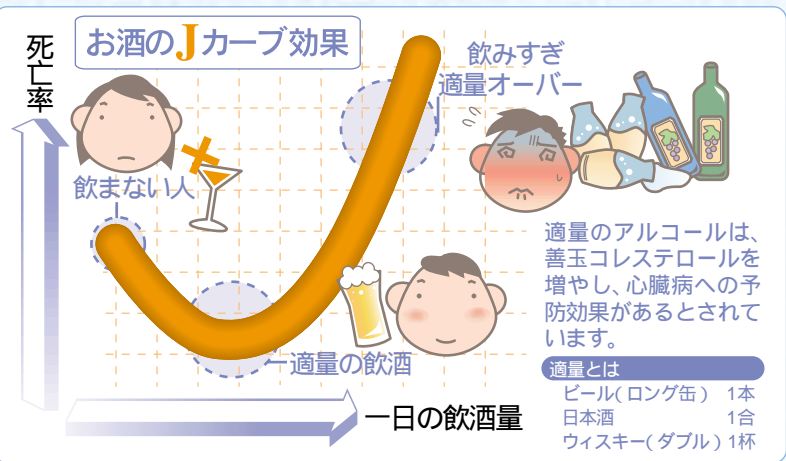
- ① 会話を楽しみながら、自分のペースで
- ② 良質のタンパク質(枝豆、豆腐、魚など)を十分に
- ③ 週に二日は休肝日を

未成年はだめですよ

20歳までは成長段階にあり、アルコールは脳細胞の発育をさまたげるほか、性ホルモンにも悪影響を与えます。

「お酒は20歳を過ぎてから」
を徹底しましょう。

お問い合わせ 県健康対策課
TEL 018(860)1422 FAX 018(860)3821



二日酔いでの運転も「ダメ、絶対」

たとえわずかなお酒でも、車の運転には大きな影響が出ます。

- ・ 動体視力が落ちて、視野が狭くなります
 - ・ 運転に必要な判断力や集中力が低下します
 - ・ 運動神経がにぶり、ハンドル操作やブレーキが遅れます
 - ・ 平衡感覚が低下し、蛇行運転になります
- ちなみに、日本酒1合を消化するためには約3時間かかります。飲酒運転による事故の約9割は、軽度の飲酒によるものです。

情報の ひろば

募集

県立技術専門学校(高卒コース)の生徒募集

県立技術専門学校では、高卒コースの平成17年度生を募集します。
 受付期間 10月29日(金)～11月12日(金)
 選考日 11月22日(月)
 合格発表 12月3日(金)
 出願資格 高等学校卒業者(平成16年度卒業見込みの者を含む)

☎県労働政策課 TEL 018(860)2321
 または各県立技術専門学校

催し

ハーモニー子育てフェスタ2004

男女が子育ての楽しさと大切さを共有し、安心して子どもを産み育てられる社会を目指して開催します。当日は作家の鈴木光司さんの講演や女優の香坂みゆきさんによるトークショーのほか、パネルディスカッションが行われます。

日時 11月7日(日)

第一部：午前11時～正午(講演)

第二部：午後1時～午後3時(公募メッセージの表彰、トークショーなど)

会場 県児童会館(秋田市) 託児あり

☎県男女共同参画課

TEL 018(860)1556 FAX 018(860)3895

若者チャレンジセミナー

就職前に職業のイメージを持ち、夢を持ってさまざまな職業にチャレンジできるよう、主に学生を対象とするセミナーを開催します。

日時 10月30日(土)

午後1時30分～午後4時30分

場所 秋田大学教育文化学部3号館145講義室(秋田市手形)

☎県男女共同参画課

TEL 018(860)1555 FAX 018(860)3895

協働のまちづくりセミナー

地域住民が自ら取り組むまちづくりの活動を支援するため、セミナーを開催します。

日時 10月22日(金)

午後1時30分～午後4時30分

場所 県児童会館(秋田市)
 講師 児玉更太郎氏(広島県安芸高田市長) 井上繁氏(常磐大学コミュニティ振興学部教授)

☎県市町村課

TEL 018(860)1144 FAX 018(860)3858

青年海外協力隊およびシニア海外ボランティア秋期募集説明会

あなたも国際協力に参加してみませんか。「青年海外協力隊」

年齢 満20歳～満39歳

日時 10月20日(水)

午後6時30分～午後8時30分

11月6日(土)

午後1時30分～午後3時30分

会場 県社会福祉会館(秋田市)

「シニア海外ボランティア」

年齢 満40歳～満69歳

日時 10月27日(水)

午後6時30分～午後8時30分

会場 県社会福祉会館(秋田市)

☎県学術国際政策課

TEL 018(860)1219 FAX 018(860)1225

高齢者雇用支援フォーラム

10月は高齢者雇用支援月間です。働く意欲のある方が継続して働けるよう広く理解と協力を求めるため、高齢者雇用支援フォーラムを開催します。

日時 10月20日(水)午後1時30分

場所 ホテルメトロポリタン秋田(秋田市)

☎県雇用対策課

TEL 018(860)2331 FAX 018(860)3833

ベンチャープラザ秋田2004

県内ベンチャー企業のプレゼンテーション、ベンチャー支援コンサルタントの吉田雅紀氏の講演会、県内の企業開発製品の展示、交流会などを行います。

日時 10月21日(木)午後1時

会場 秋田キャッスルホテル(秋田市)

☎(財)あきた産業振興機構

TEL 018(860)5605 FAX 018(863)2390

秋田県読書フェスタ

読書活動の意義や重要性について理解と関心を深めてもらうために開催します。

日時 10月31日(日)午前10時

会場 秋田市民交流プラザ

(秋田拠点センター・アルヴェ内)

内容 講演会、読み聞かせグループ実演、絵本リサイクル事業による絵本の無料配布会など

☎県教育庁生涯学習課

TEL 018(860)5184 FAX 018(860)5816

お知らせ

エイズの即日検査を導入しました

10月から、エイズの検査結果がその場でわかる即日検査を導入しました。

実施保健所

大館保健所 TEL 0186(52)3955

秋田中央保健所 TEL 018(855)5170

横手保健所 TEL 0182(32)4005

秋田市保健所 TEL 018(883)1180

検査は、無料・匿名で受けることができます。

性感染症(性器クラミジア、梅毒)も無料・匿名であわせて検査することができます。

☎県健康対策課

TEL 018(860)1424 FAX 018(860)3821

火災が発生しやすい季節を迎えます

11月7日(日)～13日(土)は、「秋の火災予防運動」です。期間中は、住宅防火診断や消火訓練が各地で行われます。みなさん積極的に参加しましょう。

●全国統一防火標語

「火は消した?いつも心にきいてみて」

☎県総合防災課

TEL 018(860)4566 FAX 018(824)1190

10月ば「土地月間」です

土地は、生活や生産のためになくならない貴重な資源です。各種の土地利用計画に従って、土地を適正かつ有効に活用しましょう。

県は地価調査結果(7月1日現在の調査地点の価格)を、9月22日付けの県公報で公表しました。土地取引の指標としてご活用ください。

県公報は県政情報資料室(県庁第2庁舎)や県ホームページでご覧になれます。

☎県建設管理課

TEL 018(860)2424 FAX 018(860)3829

試験

16年度秋田県手話通訳者登録試験

手話通訳者として登録するための全国統一試験を行います。

試験日 12月4日(土)

会場 県社会福祉会館

内容 筆記、実技、レポート、面接

受験資格 手話通訳者養成研修修了者、及び同等の知識・技術を有する者

申込日 10月4日(月)～11月4日(木)

☎秋田県聴覚障害者協会

FAX 018(864)2782

または県障害福祉課

TEL 018(860)1332 FAX 018(860)3866

テレビ

こちらお茶の間情報局

- ABS 毎週日曜日11:00~11:15
- 10月3日 水と緑のグリーンツーリズム~あきた北の魅力を探る
- 10日 ちびっこ県民交流会
- 17日 議会だより
- 24日 森林ボランティアに参加しませんか
- 31日 民間レベルでの地域連携
北東北三県連携番組

秋田花まるっ

- AKT 毎週月曜日21:54~22:00
- 10月11日 秋田中央道路
- 18日 ちいき発「元気宣言」
~あきた元気フェスティバル
- 25日 マンスリー県政情報
(4日は番組をお休みします。)

あきた東西南北

- AAB 毎週土曜日9:30~9:45
- 10月2日 県南蕎まつりで食文化を発信!
- 9日 魅力いっぱい!ソウル便
- 16日 日本3大地鶏~比内地鶏~
- 23日 秋田県立大学を訪ねる
- 30日 災害!そのときに備えて!(アンコール放送)

ラジオ

- 県庁だより
- ABS 月~金11:45~11:50
- モーニングスマイル
- エフエム秋田 毎週土曜日 8:30~8:55



広報の窓

あんな声こんな声

7月中旬に新潟を襲った集中豪雨による大水害の報道には驚きました。

住民への連絡の遅れ、県と市町村の連携の悪さ、個人の危機意識の低さなどが重なり、大変悲しい結果になってしまいました。特に、寝たきりの老人が水死したことには胸が締め付けられる思いでした。本当に自然の力は恐ろしいものです。

同じようなことが秋田で起こった場合、迅速に対応できる体制になっているのか心配です。地区の消防団に緊急連絡できる体制や組織づくりが必要なのではないでしょうか。(「県政モニター通信」から)



気象台が発表する大雨・洪水・大雪などの注意報や警報は、県の「総合防災情報システム」から、県地域振興局、市町村、消防本部などに伝達される仕組みになっています。また、住民の方々への情報伝達は、市町村が設置している防災行政無線などを通じて行われます。

大雨・洪水などの危険度は、降雨量や水位観測所のデータを基に、河川を管理している国の河川国道事務所や県河川課が判断しています。水害の恐れがある場合は、警報を市町村に伝え、市町村が水防団の出動や避難勧告などを行うことになっています。

被害を最小限に食い止めるためには、日ごろからの備えとともに、独り暮らしの高齢者への対応など地域の力が必要となります。このため市町村では、町内会などを単位とした「自主防災組織」の組織化に取り組んでいます。

県総合防災課 TEL018(860)4563

春夏秋冬
こぼれ話

シリーズ67

文 小西 一三 / 絵 小西由紀子

白と黄金色のコントラストが
美しい、秋の鳥海百宅地区



そばを打つのは午前中、運が良ければ、佐藤さんの鮮やかな手つきを見ることが出来るかも…。

手前がそばの花、奥は黄金色の稲穂



稲刈りが終わった
10月10日頃には
そばの収穫が
できそうです

佐藤
孝征さん
(29)

九月初旬の鳥海百宅地区。山ぎわの曲がりくねった道を車で走ると、白と黄金色が入り交じった、ちょっと変わった景色に出会う。黄金色は頭を垂れた稲穂、白はそばの花だ。標高四百メートル前後の山あいには広がる耕地は複雑な形をしており、面積もさまざま。わずかな耕地にも転作作物としてそばを植え、先祖伝来の土地を守ろうとする地区の人たちの努力がひしひしと伝わってくる。

法体の薄があり、マタギの里としても知られている百宅地区は冷涼な気候のため昔からそばの栽培が行われており、寛永十九年(一六四二年)にはすでにそばが栽培されていたとの記録も残っている。百宅地区は現在戸数四十六戸、その中の十三戸が今もそばを栽培している。

「百宅は昔はほとんどの家で自家用に栽培し、普段からよくそばを食べていたと聞いています。私も子どもの頃はあさんの打ったそばをよく食べさせられました。でも、黒つぶくて固くツツ

ツツ切れるようなそばで、子ども心においしいと思ったことはなかった。ただ冬場のヤマドリでとったタシだけはおいしかったですね。こう教えてくれた佐藤孝征さん(29)は、一〇〇パーセント百宅産のそばを使っているそば処「ももや」の店長。「ももや」は平成十二年に国道一〇八号沿いにオープンした。鳥海町そば等加工提供施設」の中にあり、製粉も行っている。

高校卒業後、東京の和食の店で料理の基礎を学んだ佐藤さんはその後、千葉県のそば屋に就職。一からそば打ちを学んだという。ばあさんには悪いけど、本職の作るそばは数倍もおいしかった。そばとは打ち方によって味がこんなに違うもんだとびっくりしました」と佐藤さんは笑う。

そばは、稲刈りが終わる十月中旬に刈り取って、しっかりと乾燥させる。「新そばの季節になるとわくわくしてきます。やはり香りが違いますから」と佐藤さん。百宅産の新そばが登場するのは十一月中旬になるといふ。

パブリック・コメントを予定しています。
「秋田県工業振興アクションプラン(仮称)」 10月下旬
実施予定

県は、製造業に関する技術開発と支援方針に係る方針を明示し、具体的な施策に反映させるため、アクションプランを作成しています。

このプランは、本県工業の振興指針である「秋田ものづくりビジョン」(平成11年3月策定)を踏まえ、試験研究機関を含めて県が「選択と集中」の上で実施する短期(3カ年)の施策の方向性を、企業を含む県民の皆さんに広くお知らせするものです。

また、プランに掲載した施策・事業の結果は、十分に検証し、その後の施策に生かしていくこととしています。

内容が決まり次第、県のホームページなどに掲載します。

お問い合わせ 県商工業振興課
 TEL018(860)2242 FAX018(860)3887

100万人の環境講座 No.7
 私たちの大切な水を守りましょう

人間が利用できる水は、地球全体で何パーセントあるか知っていますか。地球には14億立方キロメートルの水がありますが、約97パーセントは海水です。残りは淡水ですが、私たちが利用できる湖沼や河川、地下水などは、全体のわずか0.8パーセントといわれています。では、私たちが一人ですべて1日に使う水の量はどれくらいでしょう。

秋田県では、一人で1日に約310リットル、一般的な大きさのバケツに換算すると約40杯分も水を使っています。私たちは、蛇口をひねれば水が出るという快適な生活を営んでいます。しかし、米のとぎ汁や食器洗い後の水といった生活排水が、湖沼や河川の大きな汚染原因になっています。

水は私たちの生命の源です。みんなで水を汚さない工夫をし、実践しましょう。

水を汚さない工夫いろいろ

米のとぎ汁を庭木などへの散水に利用する
 洗剤は適正な量を計って使う
 油やゴミを排水口に流さない

お問い合わせ 県環境政策課
 TEL 018(860)1603 FAX 018(860)3881

クイズ

正解者の中から抽選で、10人の方に図書カード(千円分)をお贈りします。

問題 開催が正式決定した「秋田わか杉国体」。「まごころ国体」以来、本大会としては2度目の開催です。さて、何年ぶりの開催でしょう?(P2参照)

- (1) 16年
- (2) 46年
- (3) 76年

応募方法 答え、郵便番号、住所、氏名(読みがな)年齢と本紙の感想などをお書きのうえ、〒010-8570県情報公開課クイズ係(住所は不要)までお送りください。締め切りは10月27日(消印有効)。ハガキ、ファクス(018-860-1072)、Eメール(sinjidai@mail2.pref.akita.jp)でどうぞ。

8月号の正解は「3」124,000ヘクターールでした。応募214通、うち正解205通の中から抽選で次の方々が当選されました。戸澤晃子さん(鹿角市) 虻川洋子さん(大館市) 伊藤真知子さん、佐藤信晴さん、北山奈津子さん(以上秋田市) 鶴沼昭夫さん(本荘市) 佐野加代子さん、藤谷千恵子さん(以上大曲市) 佐々木博巳さん(南外村) 小野寺洋子さん(稲川町)

編集部から

アテネオリンピックは史上最多のメダル獲得という日本勢の大活躍で終わりました。徹夜でテレビ観戦という方も多かったと思います。

県勢でもっともメダルに近かったのは、男子1600メートルリレーの伊藤友広選手(南外村出身)伊藤選手は高校に入ってから陸上競技を本格的に始めたそうです。北京オリンピックの1年前には「秋田わか杉国体」が開催されます。県民総参加の取り組みが実を結び、秋田の主役が北京の主役になることを期待したいものです。

游学
 さんぽみち

県立農業科学館

大曲市内小友 TEL 0187(68)2300
 企画展「菊花展」

秋の代表ともいえる菊花の奥深さを堪能してみませんか。「大曲菊花同好会」の協力を得て、厚もの大菊を中心に、管もの、だるま作り、福助作りなど約120鉢を展示します。



日時 10月26日(火)~10月31日(日)
 午前9時30分~午後4時30分
 (入館は午後4時まで)

入館料 無料
 ホームページ <http://www.akita-c.ed.jp/mus-agri/>

県立美術館

秋田市千秋 TEL 018(834)3050
 秋田現代美術展

県内在住の美術作家による総合美術展覧会です。絵画、立体、工芸、書道、写真、デザインの部門から著名な全国展での受賞作品などを中心に73点を展示します。



日時 10月20日(水)~10月24日(日)
 午前10時~午後6時

入館料 無料
 県民文化政策課 TEL 018(860)1531
 ホームページ <http://www.pref.akita.jp/seikatu/index.htm>

県工業技術センター

秋田市新屋 TEL 018(862)3414
 第53回秋田県発明展

県内の児童・生徒や企業から応募のあった発明考案品を展示します。創作する喜びや豊かな観察力・想像力に触れてみませんか。



日程 11月6日(土)~7日(日)
 午前9時30分~午後4時30分

入場料 無料
 ホームページ <http://www.pref.akita.jp/koshin/hatumeiten.htm>

県政だより「あきた新時代」は県内全世帯にお届けしています。ご近所などで配達されない方がおられましたら、県情報公開課までお知らせください。また、感想などをお待ちしています。

県政だより「あきた新時代」は県のホームページ「美の国あきたネット」で紹介しています。

アドレスは、<http://www.pref.akita.jp/>

県政だより「あきた新時代」は、点字版、音読テープ版も発行しています。ご希望の方は、県情報公開課までお知らせください。



県人口 1,160,102人 (-451)
 男 548,499人 (-171)
 女 611,603人 (-280)
 世帯数 398,462世帯(145)
 (平成16年8月1日現在の推計値。カッコ内は前月比)



古紙配合率100%再生紙を使用しています